

2020年12月4日

2020年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人みたか市民協同発電

代表者・役職名 氏名 代表理事 大谷内千秋

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

SDGsアクションみたか 2020

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2013年、地球温暖化問題や東日本大震災を契機に化石燃料や原子力発電によるエネルギーに代わる安全・安心な再生可能エネルギーを地域から広めたいと有志が集まり、任意団体みたか市民協同発電を設立した。さらに活動を広めていくために翌年2014年にNPO法人を取得した。活動は再生可能エネルギーの普及、温暖化防止学習会、市への提言を行っている。現在正会員43名、賛同人94名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

国連が唱えるSDGs達成のためには分野を超えた連携が必要であることを、行政・事業者・一般市民に訴える意味も込めて本企画の実施を考えた。昨年「SDGsアクションみたか」を主催したが、さらに市民にSDGsに関心を持ってもらうための意識調査を行い、市全体でSDGsを達成できる取り組みを進めたい。市民のSDGsの認識に関する現状を把握することで、行政に対してデータに基づく具体的な提言を行うことに繋げる。その調査結果や、市民ができること等をまとめた冊子を配布することで市民一人ひとりがSDGsを自分ごととして捉えてもらうきっかけを作る。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ①SDGs意識調査4月～7月実施。三鷹市に関わる人を対象にSDGsの認知度等の意識調査を実施。
- ②リアルでのエコマルシェがコロナで中止になり、代わりにオンラインによる環境団体活動紹介のイベント「SDGsアクションみたかエコマルシェ交流会」を11月8日実施。
- ③団体の概要のポスター掲示は変更、代わりにホームページに各団体紹介を掲示、またNPOフォーラムに「私たちの暮らしと未来をつなぐSDGs ～カードゲーム」を企画しSDGsの結果報告を実施。
- ④環境を配慮した紙、インクなどを使用した「SDGsアクションみたか」の冊子作成。配布はエコマルシェが中止になったので郵送、手渡し等で配布に変更。
- ⑤SDGsの結果を市に報告

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

SDGsアンケート項目の作成、対象、回収、分析などに費やした時間、労力は大変大きかったが、国際基督教大学の学生さんや市内の団体の協力も得て、内容的によいものに仕上がった。冊子自体も環境に配慮した紙やインクを使っている地元の印刷会社を選び SDGsの理念に貢献できた。

343 人の回答の中で特に関心のある項目に「気候変動」、次に「貧困問題」そして「エネルギー」をあげた人が多かった。近年の異常気象による災害や格差問題が身近で起きていると感じている人が多いことを表している。SDGsのこれらの問題に関心はあるが取り組みたいが方法がわからないと答えている人も多かったので、みんなが取り組めるようなイベント企画や市への提言に繋げていきたい。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

マイバッグやマイボトルを持参する人が増えているなど以前よりSDGsの認知度は上がっているが、まだアクションに移せない人も多い。SDGsのご意見の中に、「まず知ることから、物事は始まりますね。」や「エシカル消費についてもまだまだ認識が足りないことに気づかされました。」にあるように気づきそして自分事として取り組んでもらうことがいかに大切なことが分かった。一人でも多くの人にSDGsの大切さを伝えていくためにSNSや Facebook、HPなどのツールをもっと活用して広めていきたい。またエネルギー関係だけでなく様々な環境団体と繋がってSDGsの理念を広めていきたい。自治体も SDGsを掲げているので共同して取り組みたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・ 特になし



今年はオンラインで！『SDGs アクション みたかエコマルシェ』

上 SDGs アクションみたかエコマルシェ交流会の呼びかけ
下 SDGs アンケート調査

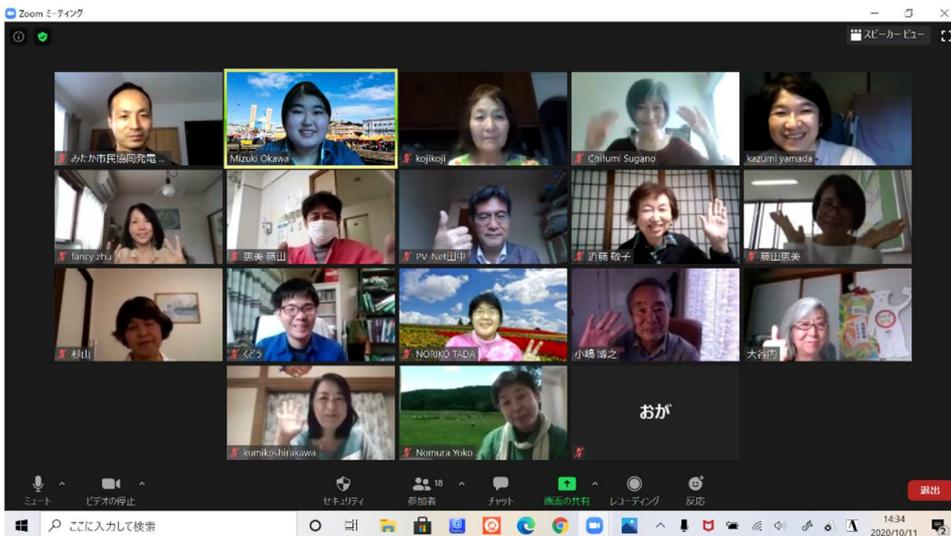
みたかSDGs意識調査

“SDGs（持続可能な開発目標）”を知っていますか？
私たちみたか市民協同発電は、三鷹市全体でのSDGsの達成を目指し「SDGsアクションみたか」プロジェクトを行っています。今回の調査では、ICU生と協力し三鷹市に何らかの形で関わりのある方を対象に、SDGsへの意識や関心について把握することを目的としています。その声をもとに、SDGsを「自分ごと」として捉え行動に移してもらいたいイベントの開催や情報発信などをしていきます。最終的には、みなさんの声をもとに三鷹市へSDGsに関する具体的な提案に繋げることを目標としています。ぜひご協力をお願いします！

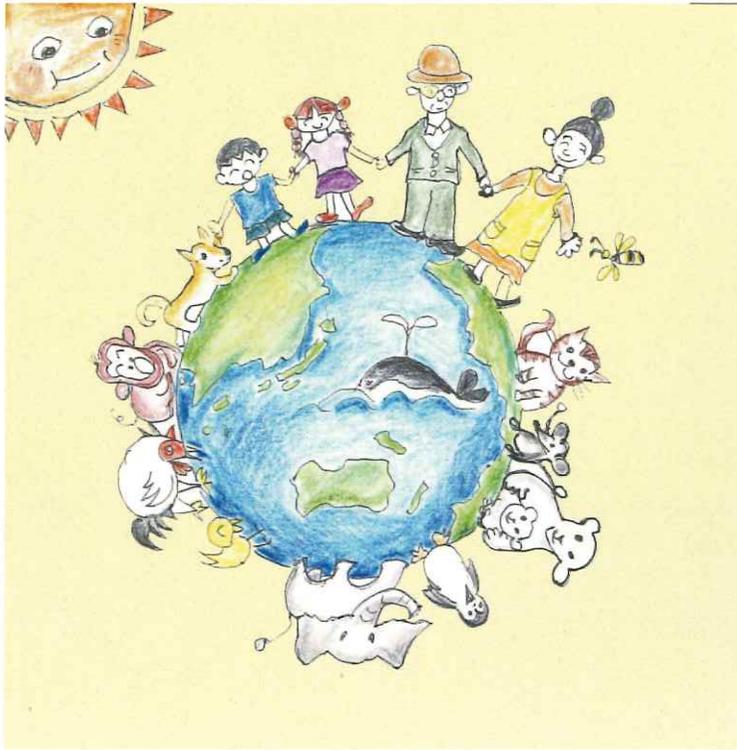
個人情報とその用途について
記載していただく個人情報は、本調査の目的以外には使用しません。

あなたの年齢を教えてください。

10代
 20代
 30代



私たちの暮らしと未来をつなぐSDGs ～カードゲーム』



みんなの地球

STOP 温暖化! Take action now!



SDGsアクションみたかハンドブック 2020



編集・発行
NPO法人みたか市民協同発電

<編集後記>

2019年11月にSDGsアクションみたかが始まって、これからみたか発電を拠点に様々な発信をしていく上で、何か工夫ができないかと思ったのが、このハンドブックを作る原点でした。そこで、他の地域でも日本全体でもなく、「三鷹市に関わる方々は」SDGsのどんなところに関心を持っているのか、どんな活動をしているのか、より地域に根ざした視点でまとめることを心がけました。

加えて内容だけではなく、冊子自体もSDGsの理念に通じる持続可能で「誰一人取り残さない」地域づくりにも貢献することができたように思います。例えば、地元の印刷会社の文伸さんへの印刷依頼、環境に配慮した紙・インクの使用、そして冊子の字体ユニバーサルフォントへの統一などがこれに当たります。この冊子が、少しでもSDGsに関心を持ち、身近なところから行動を起こすきっかけとなりましたらこれほど嬉しいことはありません。

みたか発電はこの冊子を新たな出発点として、これからも様々な発信を続けていきます。ぜひ当団体のSNSのフォロー、そしてイベントにご参加いただけましたら幸いです。三鷹市に関わるみなさまと交流し、SDGs達成に向けて様々なアイデアをいただける機会を心より楽しみにしております。

NPO法人みたか市民協同発電 大川瑞稀

<冊子発行にご協力いただきましたみなさま>

アンケート回答者のみなさま

国際基督教大学(ICU)のサービ斯拉ーニング受講生のみなさま

団体・お店紹介の原稿を作成・送付して下さったみなさま

助成:真如苑「Shinjo プロジェクト」

2020年10月 印刷・発行
2020年6月 アンケート
編集・発行
NPO法人みたか市民協同発電
181-0011 三鷹市井口4-19-23
事務局連絡先
mitakahatsuden@gmail.com
頒価 100円
印刷製本 株式会社 文伸

BUN-SHIN は、印刷や出版や動画、WEBサイトなどを手がける会社です。地域に根差しつつ、環境に優しい企業を目指しています。

例えば、環境に優しい印刷物を多く生産した会社として、2017年から4年連続でGPマーク普及準大賞を受賞しています。持続可能な地球と地球市民のために、大河の一滴を続けたいと考えています。

株式会社文伸 東京都三鷹市上連雀1-12-17 Tel.0422-60-2211 Fax.0422-60-2200

*GP:グリーンプリンティング。日本印刷産業連合会による環境に優しい工場や製品の認定制度。

